

アジア医師連絡

協の代表が講演

総社南高で

アジア医師連絡協議会（AMDA、本部・岡山市）の菅波茂代表が十日、総社市三輪、県立総社南高校（難波一衛校長）で講演した。

同校が国際コースの生徒百三十人を対象に、紛争地などで活躍する民間活動団体（NGO）の活動に理解を深め広い視野を持つてほしいと初めて企画。今月中に三回にわたってAMDAの活動や市民とNGOのかかわりやチーム話してもよいと話した。

一回目の日は、午後一時二十分から菅波代表がNGOの活動について紹介。ボランティアの姿勢について「どんな国の人にも気持ちよくへ接する人が多きのがよいかな、いからの考え方がいい。外国の人とコミュニケーションをとり、日本人は世界中の知識を身につけて、相手との距離を縮める努力をしてほしい」と語った。

講演を聞いた二年生の徳村真由美さん（二）は「前から興味を持っていた。活動をしていく方の話を聞けてよかった。今度はもっとよくわかっていこうと聞きた」と話した。